

# Broom Craft

棕櫚箒

Syuro houki



シダ箒

Sida houki

より良い箒で

掃除への

モチベーションを

ホームページ



〒642-0024

和歌山県海南市阪井1391-4

TEL.073-487-2498

FAX.073-487-0366



Broom Craft

棕櫚箒

Syuro houki



シダ箒

Shida houki

# 和歌山に箒？！



—和歌山で箒なんて作ることができるのだろうか—

## 深海産業

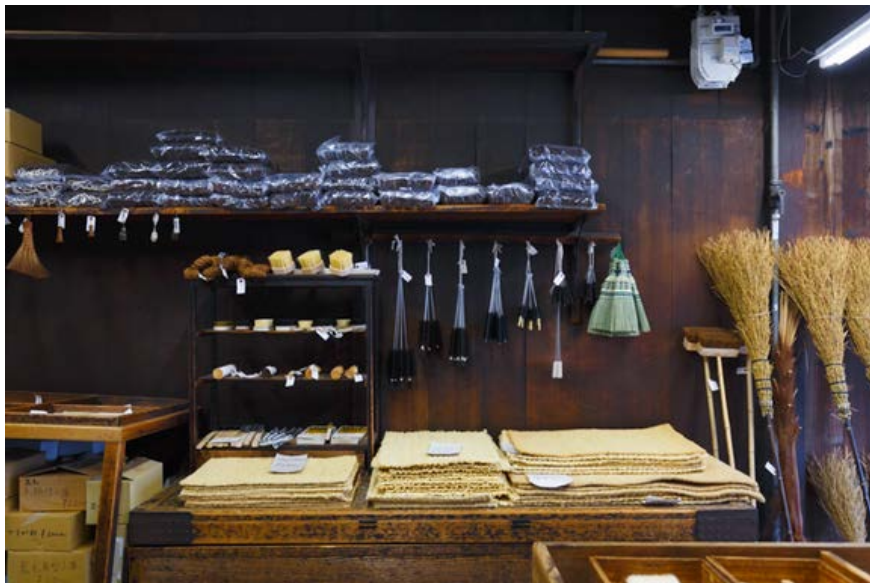
1950年頃、先代 深海洋治が自宅にて棕櫚繩の生産を開始・創設して以来緑化資材に携わる会社。さらに2019年からは新しく箒ブランドとして「Broom Craft」を立ち上げ、箒をはじめその他掃除小物などの製品も手作業で制作している。またこの伝統を継承していけるよう「職人育成プロジェクト」、「Enjoy Work」を掲げ箒作りのノウハウや手作りの素晴らしさを伝えている。



東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022  
グランプリ受賞 全コンテストの中から選ばれる

# きっかけ

新商品の開発に取り組むため、全国の職人を訪ねているとき京都にある「内藤商店」の女将さんからの依頼がきっかけ。それは消滅した「シダ箒」を復活させてほしいというもの。（京都では通称「京箒」「庭箒」）京箒を一から解体し約半年かけて完成させ、深海産業独自ブランド「国産棕櫚箒」を開発した。



## 伝統を継承していく

深海産業は創業七十年も続く。しかも「京箒」も古くからはわかないだろうか。昔からの作り方、ノウハウを崩さず「伝統を『今風』にしている。」と言う。「今風」とは何かと質問してみると今風とは昔ながらの型にピッタリとはまったものではなく時代に沿った「今風」の製品を創っているとおっしゃった。箒職人の人数が減る現代。しかしこのような製品をここで途切らせてはいけない。ここからさらに深化する深海産業の製品を一度手に取ってみてはどうか。

和歌山と言えば、梅や有田みかん、ももなどが有名だがそこに「棕櫚・シダ箒」が入る日を目指に深海産業の職人のみなさんは作業をしていた。一人ひとりが丁寧に丁寧に作業をしている様子がとても印象的で、その分製品も美しい。

私達も実際にブラシづくりを体験させていただいた。一見長年の経験がないと素人には到底難しそうだったが、特別難しいわけでもなく中学生の私達でも作ることができた。そこからものを作ることの楽しさを知ることができた。その様子を見て深海さんはこうおっしゃる。

「まずはたくさんの人にもものづくりの楽しさを知ってもらい、そこから興味を持ってほしい。」

製品をひとつひとつ丁寧に制作し、熱い思いがこもったものばかり。箒に関しては誰がどのほうきを作ったのか日々丁寧に思いを込めて作っている職人の目には、違いがわかるのだそう。また箒の繊維が抜けやすいとのクレームからどう工夫すると繊維の抜けにくい箒ができるのか試行錯誤を繰り返した結果、現在特許出願ができるような耐久性のある箒へと生まれ変わった。

## 箒を触った感想

私達も箒を触らせてもらった。

- ・箒にコシがある
- ・しかし柔らかい
- ・毛一本一本が隅々まで届きゴミを一気にかき出すことができる

